

流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事業名	水道料金改定事業
担当課	経營業務課

① 市民参加の方法の選択について

水道事業という公共性の高い事業であるため、専門家と市民代表による審議会に加えて、大口の利用者に焦点を絞って意見交換会を選択したことは妥当と考える。

＜各委員からの意見＞

- ・値下げの対象者は利益の享受者であるため、より大幅な値下げの要求以外は概ねポジティブな反応が予想される。小口の一般需要者にとって、今回の料金改定が全体の水道料金体系においてどのように位置づけられるのか、また関連を持つのかという観点から、意見交換会に参加してもらったことよかったですのではないか。
- ・料金の見直し対象が一部の大口利用者に限られ、かつ緊急の対応を迫られていることなどを考慮すれば、その対象となる利用当事者との意見交換会を選択したことは妥当と考えられる。ただし、料金体系全体ではなく、大口利用者のみを対象とした改定を実施したことについては、更に色々な機会をとらえ、市民に対し十分な理解を得られるようにしておく必要がある。
- ・大口利用者への優遇に対し、一般市民の理解を得るための説明と意見聴取が1回だけの意見交換会では不十分だったのではないか。

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

大口利用者に対する料金体系の改定事案を踏まえ、学識経験者と受益者のメンバーによる審議会並びに意見交換会の平行スケジュールは適切と評価する。

意見交換会の開催日時を参加者に合わせて設定することで参加人数を増やし、また、審議会も定期的に行われた状態で、いい形で意見聴衆ができたのではないか。

＜各委員からの意見＞

- ・急な対応となった背景があったようだが、迅速に対応しながら、市民参加の手続きを省かずに対応していることを評価したい。
- ・審議会の開催が5月から12月まで7か月にわたっているが、内容から考えてそれほど回数と時間を要するものだろうか。
- ・なぜ、大口利用者の料金見直しをしなければならないのか、水道料金全体に対し市民に説明する広報特集が有っても良かったのではないか。

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

大口需要者は概ね事業者であると思われるので、今回の改定の意味、流山市の水道料金体系の他市との比較や問題点、将来の方向性について情報提供すべきであると考ええる。

意見交換会の案内を値下げ対象になる大口利用者に事前通知したことが工夫したことに書かれているが、一般市民の誤解を招きかねない。一般市民への周知に工夫がほしかった。

＜各委員からの意見＞

- ・HPのみの周知では、市民は進捗状況を掴み難いと思われる。専門的知見者の意見をもっとかみ砕いた内容で市民に開示する必要があるのではないか。
- ・料金改定の趣旨や概要の把握周知に必要な情報や審議会の議事録をHPに掲載するなど積極的な情報提供を高く評価する。
- ・意見交換会を対象者に個別通知をするなど、特に対象になる方が積極的に市民参加してもらうための努力が見受けられる。
- ・今回は大口利用者のみを対象とする例外的な措置であり、当面は、市民全体への情報提供はHP、広報紙で十分と思われるが、今後の上下水道料金全体の見直しの時には、大口利用者のみならず一般市民への影響の大きさを考慮して、よりきめ細かな広報活動、情報提供が求められる。

④ 改善点について

＜各委員からの意見＞

- ・今回は、対象になるのが大口利用者にかぎっていたため、特化した形で意見交換会などを設けたと思うが、今後の水道利用に関わってくることではないと言い切れないため、広く一般市民からも意見聴取ができるパブリックコメントなども加えても良かったのではないか。
- ・基本的な市民向けの情報提供が少ないと感じる。根本的な料金見直しをする際には、流山市の水の安全性やそれに向けた取り組み、近隣市の状況等市民への情報提供に工夫してわかりやすく説明する資料をご準備し、次回の料金改定にのぞんでもらいたい。
- ・審議会の構成は内容に鑑みて、学識経験者5名はやや過剰ではないか。
- ・今後このような料金の変更の場合は、誤解を招かないためにもその理由を事前に市民にしっかりと説明し、理解を求めるようにするべきである。一般市民が参加できるのが意見交換会だけの場合、複数回開催すべきと考える。

⑤ 当該事業の評価について

A	(B)	C	D
---	-----	---	---